

## 遷移金属触媒を用いたエナンチオ選択的芳香環構築

田中 健 教授（東京農工大学大学院工学府応用化学専攻）



2014年2月12日（水）13:30–15:00

創成科学研究棟5階大会議室

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

ノーベル化学賞の対象となった触媒的不斉還元・酸化反応に続いて、多くの優れた触媒的不斉炭素–炭素結合生成反応が開発されるようになってきた。これらの反応は主として中心不斉の構築を目的とした触媒反応であるが、軸不斉・らせん不斉・面不斉の構築を目的とした触媒反応の開発は、演者らの研究以前には極少数の成功例しかなかった。本講演では、演者らが開発した「遷移金属触媒を用いたエナンチオ選択的芳香環構築」について、最新の成果を紹介する。

問合せ先：触媒化学研究センター・小笠原 正道 (ogasawar@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9154)